

2023年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2022年11月11日

山陽電気鉄道株式会社

(東証プライム市場9052 <https://www.sanyo-railway.co.jp/>)

目次

- 2022年度第2四半期 業績資料（連結 実績） P.2
- 2022年度 業績資料（連結 予想） P.3
- 鉄道事業運輸成績表（個別） P.4
- 設備投資額（連結） P.5

2022年度第2四半期 業績資料（連結 実績）

【2022年度第2四半期実績のポイント】

- ◎営業収益はグループ全体で**1億2,900万円の増収**
不動産業での減収を運輸業・流通業での増収が上回り、増収となった。
 - ◎営業利益はグループ全体で**3億2,500万円の増益**
運輸業・流通業で黒字転換し、増益となった。
- ・運輸業・流通業では新型コロナウイルスによる影響が緩和したため、増収増益となった。
・不動産業では分譲規模の差により、減収減益となった。

2021年度比では+13.0%の増収だが、
コロナ前の2019年度比では△13.8%と
影響はまだ残る

詳細はP.4
鉄道事業運輸成績表（個別）を参照

(単位：百万円)

		2022年度 第2四半期実績	2021年度 第2四半期実績	増減額	増減率	主な増減理由
運 輸 業	営業収益	8,861	7,844	1,017	13.0%	鉄道+722、バス+148
	営業利益	179	△428	607	—	鉄道+422、バス+90
流 通 業	営業収益	4,372	3,942	430	10.9%	百貨店+428（2021年度比では+13.1%の増収だが、コロナ前の2019年度比では△13.8%と影響はまだ残る）
	営業利益	188	△27	215	—	百貨店+192
不 動 産 業	営業収益	2,439	3,700	△1,260	△34.1%	山陽電鉄△1,300（分譲規模の差）
	営業利益	984	1,475	△490	△33.3%	山陽電鉄△527（分譲規模の差）
レジャー・ サービス業	営業収益	928	984	△55	△5.6%	山陽レジャーサービス△50 （一部ゴルフ練習場の受託終了）
	営業利益	54	72	△18	△24.9%	
その他の事業	営業収益	663	664	△1	△0.3%	
	営業利益	87	82	4	5.3%	
全 社 (消去利益含む)	営業収益	17,266	17,136	129	0.8%	
	営業利益	1,495	1,170	325	27.8%	

2022年度 業績資料（連結 予想）

【2022年度予想のポイント】

◎営業収益の年間見込みはグループ全体で**41億2,400万円**の増収

◎営業利益の年間見込みはグループ全体で**14億5,100万円**の増益

- ・運輸業を中心に新型コロナウイルスの影響が緩和し増収となるものの、依然として新型コロナウイルスの影響は一定程度残ると想定している。
- ・不動産業では分譲規模の差により増収増益と想定している。

2021年度比では+8.7%の増収だが、コロナ前の2019年度比では△10.4%と影響はまだ残る

詳細はP.4
鉄道事業運輸成績表（個別）を参照

(単位：百万円)

		2022年度 予 想	2021年度 績 実	増減額	増減率	主な増減理由
運 輸 業	営業収益	17,714	16,092	1,621	10.1%	鉄道+1,121、バス+317
	営業利益	△81	△1,005	924	—	鉄道+568、バス+220
流 通 業	営業収益	9,091	8,612	479	5.6%	百貨店+475（2021年度比では+6.5%の増収だが、コロナ前の2019年度比では△10.4%と影響はまだ残る）
	営業利益	364	53	310	576.3%	百貨店+300
不 動 産 業	営業収益	8,339	6,159	2,179	35.4%	山陽電鉄+2,228（分譲規模の差）
	営業利益	2,476	2,200	275	12.5%	山陽電鉄+255（分譲規模の差）
レジャー・ サービス業	営業収益	1,855	1,979	△123	△6.2%	山陽レジャーサービス△69 （一部ゴルフ練習場の受託終了）
	営業利益	128	135	△6	△5.0%	
その他の事業	営業収益	1,274	1,307	△32	△2.5%	
	営業利益	65	115	△49	△43.2%	
全 社 (消去利益含む)	営業収益	38,276	34,151	4,124	12.1%	
	営業利益	2,951	1,499	1,451	96.7%	

鉄道事業運輸成績表（個別）

【2022年度第2四半期 実績】

(単位：百万円)

	2022年度 第2四半期 実績	2021年度 第2四半期 実績	対2021年度第2四半期実績		対2019年度第2四半期実績 (コロナ前)		
			増減額	増減率	増減額	増減率	
定期外	2,851	2,282	568	24.9%	△644	△18.4%	
定期	通勤	2,544	2,491	52	2.1%	△223	△8.1%
	通学	393	349	44	12.6%	△58	△12.9%
	計	2,938	2,841	96	3.4%	△281	△8.7%
合計	5,789	5,124	665	13.0%	△925	△13.8%	

【2022年度 予想】

(単位：百万円)

	2022年度 予想	2021年度 実績	対2021年度実績		対2019年度実績 (コロナ前)		
			増減額	増減率	増減額	増減率	
定期外	5,673	4,916	757	15.4%	△907	△13.8%	
定期	通勤	5,053	4,936	116	2.4%	△358	△6.6%
	通学	731	689	41	6.1%	△66	△8.3%
	計	5,785	5,626	158	2.8%	△424	△6.8%
合計	11,459	10,542	916	8.7%	△1,331	△10.4%	

設備投資額（連結）

(単位：百万円)

	2022年度 計画	2021年度 実績	増減額	増減率
運 輸 業	3,105	8,776	△5,671	△64.6%
流 通 業	45	599	△554	△92.5%
不 動 産 業	5,703	3,053	2,650	86.8%
レジャー・サービス業	119	92	27	29.6%
そ の 他 の 事 業	30	30	—	—%
計	9,004	12,552	△3,547	△28.3%

2022年度 設備投資計画の主な内訳

(単位：百万円)

運輸業	山陽電鉄	2,919	東須磨駅バリアフリー化、板宿他変電所機器更新、姫路駅前通路等美装化、3000系車両リフレッシュほか
運輸業	山陽バス	162	バス車両7両ほか
流通業	山陽百貨店	32	売場改装ほか
不動産業	山陽電鉄	5,703	収益不動産（商業施設・賃貸マンション）、介護付有料老人ホーム建設ほか

2021年度 設備投資実績の主な内訳

(単位：百万円)

運輸業	山陽電鉄	8,264	山陽姫路駅ビル取得、大塩駅改良、高砂変電所更新、車両新造、飾磨駅北改札口増設ほか
運輸業	山陽バス	488	運賃箱更新、バス車両4両ほか
流通業	山陽百貨店	586	山陽姫路駅ビル取得、売場改装ほか
不動産業	山陽電鉄	3,053	エス・キュート京都下鴨東、東京都世田谷区クリニックビル取得、エス・キュートパル神戸御影ほか